

セロリ

セロリはセルリーなどとも表記され、和名はオランダ三つ葉と言われます。煮込み料理では肉の臭い消しや風味付けとして活躍。サラダでの利用が増えたことで、最近ではよい香りの中間種が流通の主流となっています。

6月の農作業

作型

涼しい気候を好み、乾燥を非常に嫌う。敷きわら、灌水など、土壤乾燥防止につとめる。肥料切れに注意する。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
夏 植 え							△	△	—	■	■	■	コーネル619

△：植え付け ■：収穫

畑の準備

土づくり a当たり	
堆 肥	400kg
セルカ(有機石灰)	10kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元 肥 a当たり	
油 粕	30kg
畝立時施用	

- 畝幅120cm
- 株間30cm
- 条間60cm (2条 千鳥植)

定 植 (株間30cm 2条(条間60cm)千鳥植)

- 本葉7～8枚の頃、根鉢を充分つけて定植する。(植穴に充分灌水しておく)
- 定植後株元に乾燥防止のため、敷きわらをする。

- 灌水は夏秋に3～4日に1回 (停滞水は良くない)
- 本葉が13～15枚になるとわき芽が伸びて親株が肥らなくなるので、わき芽は出るとかきとる。



追肥・敷きわら

- 定植後15～20日頃 野菜専用肥料4～5kg/aまたは油粕10kg/a
- 定植後40日頃 野菜専用肥料4～5kg/aまたは油粕10kg/a

防 除

病害虫名	耕 種 防 除	薬 剤 防 除
斑 点 病	種子伝染があるので健全な種子を使用	ダコニール1000 1000倍 収穫21日前まで 2回以内
ア ブ ラ ム シ	光反射テープを張る	スタークル顆粒水溶剤 2000倍 収穫14日前まで 2回以内
マメハモグリバエ		カスケード乳剤 4000倍 収穫14日前まで 3回以内

収 穫

- 定植後75～85日で株の大きいものから収穫する。
- 外葉からかきとりする方法もある。

トキワハゼ

種子で繁殖する一年草で、年間通して生育が見られる。4～10月にかけて発芽する。春に出芽した固体は夏までに開花・結実する。秋に出芽した固体は、翌春に開花・結実する。幅広い土壤水分条件下で発芽、生育が可能である。日当たりのよい場所を好み、耕起後に出芽が見られる。水田畦畔や畑、庭など広く分布する。茎の先に紅紫色の唇形花を数個咲かせる。春から秋にかけほぼ一年中花をつけるので、トキワ（常盤）ハゼの名が付けられた。

防除のポイント

小型の草種だが、群生すると作物と養水分をめぐり競合するため、早期防除に努める。切断茎から発根することはないので、中耕・培土が有効である。一年を通じて生育し、種子の寿命がきわめて長いいため、結実前の防除を心がける。



トキワハゼ (開花期)



トキワハゼ (生育初期)



トキワハゼ (花)

ノボロギク

種子で繁殖する一年草。畑地や道ばた、空き地などに普通に生育する。ほ場周辺から種子が風で飛散するため、水稲作からの転換初年目の畑にも侵入・定着する。湛水条件では生育しない。茎は赤紫色で軟らかく、20～40cmに直立し、盛んに分枝する。葉は互生で茎葉ははじめ全体にくも毛状の毛に覆われるが後になくなる。茎上部の葉は大型の長楕円形で葉柄がなく、長さは3～5cm。濃緑色でやや光沢があり、ほとんど無毛である。

防除のポイント

中耕・培土の効果も高く、手取り除草もしやすい。早めの中耕・培土で防除する。移行性の茎葉処理剤ラウンドアップマックスロード（作物によって使用方法が異なるため要確認）を作物に掛からないように散布する。



ノボロギク (開花期)



ノボロギク (生育初期)



ノボロギク (冠毛)